

今冬のインフルエンザワクチンについて

ワクチンは、ウイルスや細菌などを実際に培養して生産されるため、また、多くの人が接種することから極めて多くの生産本数が必要なため、一般の医薬品に比べて、生産に多くの時間が必要となります。ワクチンの生産や流通が円滑に行われるよう、ワクチン製造等の調整は国が行っています。

今冬のインフルエンザのワクチンの製造予定量は、令和2年8月時点における見込みで、約3,178万本（1mLを1本に換算）となっています。平成27年度以降、最も多い供給量であり、昨年度の使用量よりも約12%多く製造される予定です。

杉並区の医療機関では、ワクチン接種を行う時間帯を決めて接種を集中的に行ったり、ワクチンが無駄にならないよう予約制にしたりして、なるべく多くの方に接種できるよう努力をしております。

以上